

初めまして



脳ドック いぬかい みちお 犬飼道雄先生

本年度より勤務をさせて頂いている犬飼道雄です。普段は香川大学医学部附属病院で消化器癌や原発不明癌などに対する化学療法を行っています。この数年患者数も溢れんばかりに増加していますが、臨床試験に積極的に参加し、地域とも連携しながら、単に化学療法に留まらない、看取りまで含めた治療の質を向上させています。

倉敷平成病院では、人間ドックを担当しています。いつもは癌の患者ばかりですので、新鮮

な思いで診療にあたっています。先日、私自身も健診を受け、胃透視などを経験しました。ゲップしないで下さいと言われても、発泡剤を飲むとゲップが出そうになるし、ゲップは突然出るもので、出すなと言われても出ます。最終的には3包も発泡剤を飲まされ、相当気分が悪くなりました。おまけに人生はじめての下剤。おなかはシクシク・ゴロゴロで、健診後の大学での私の外来診察はかなりきついものでした。また身体的成長は年齢を重ねると衰えてくるはずなのですが、私の場合いまだにすくすく成長を続けています。

私は元来外科医でしたので、何年も前から栄養療法に興味を持ち、摂食・嚥下・NSTや栄養リハなどに取り組んできました。私自身の栄養療法は成功しているのか失敗しているのか、かなり微妙でメタボに対する生活指導はとてもやりづらく困っています。ただ癌診療においてもそうなのですが、話を傾聴し

共感する診療姿勢は倉敷平成病院でも行ってゆきたいと思います。先日も『食事療法は続けるのが難しく、つつい食べてしまうんです』と言われ、『そうですね。秋はピーナツや柿も出てくるし、魚も美味しくなってくるし、良い季節ですね。もうちょっとしたら忘年会も始まりますね』…。また趣味でしている家庭菜園は、柿は今年も豊作のようです。みかんと栗は昨年植樹したこともあってまだまだですが、野菜はサツマイモもしっかりできたとし、白菜・ホウレンソウ・大根も期待が持てそうです。

人間ドックにはスタイルの良いキレイなメディカルスタッフが多いので、こんなメタボは人間ドック担当にはさすがにまずいと言われないように、私も見習って自分自身への生活指導の導入をと思う限りです(笑)。

これからもどうぞ宜しくお願いします。

犬飼先生は、脳ドックセンターでの診察を担当しておられます。

Doctor's Eyes